



移動可能なフォトスポットや空き店舗を活用したPOPUPショップを設置する考えはありますか。

大内中 佐藤 遙乃 議員

【答弁】 現在「あく里っ娘」敷地内に設置されている70周年記念事業として作成した巨大いちごオブジェが、回遊性と観光のPR向上につながると期待しています。また、空き店舗の活用については、昨年6月にまちづくり拠点「コレカラ」をオープンしました。キッチンを備えたレンタルスペースがあり、POPUPショップとしてもご活用いただけます。



健康週間を設け、防災無線での呼びかけや健康講座の開催、医師が地区ごとに巡回してはいかがでしょうか。

大内中 西田 鉄平 議員

【答弁】 市では国に合わせて健康週間を実施しています。また、年間100回以上「まちなか保健室」などを会場として日中だけでなく夜間も健康講座を実施し、市の公民館等で年間73回無料の健康診断を実施しています。防災無線は緊急性が高い情報を放送するため、現在のところ考えていませんが、今後はSNS等を活用して情報発信に取り組んでいきます。



移動スーパーの利用状況と販売場所を増やし、キッチンカーで軽食を販売することを検討いただけないでしょうか。

長沼中 坂田 愛実 議員

【答弁】 移動スーパーの利用状況は運行開始から6月までで約2万7千人の方にご利用いただいております。販売場所については、皆さんのご意見を反映しながら場所の追加を検討していきます。また、キッチンカーでの販売については、利用者や地域の皆さんからのご意見を聞きながら検討していきたいと思っております。



子どもたちが農業にふれる機会として地域の農家の方々と学校が連携して農業体験学習を実施するのはどうでしょうか。

長沼中 柳田 美月 議員

【答弁】 いがしらファームでは季節に応じさまざまな野菜の収穫体験ができます。また、出前講座では農業に関するテーマもありますのでご活用ください。このほか尊徳さんの田んぼで米作り体験や市内の全小学校で農業体験学習を実施しています。今後も農家の方々等と協力し、子どもたちが農業に関心を持てる取り組みを行ってきたいと思います。



部活動を専門的な指導者が見てくれるようになれば生徒のスポーツへの意識も高まると思いますが、部活動の在り方についてどのように考えていますか。

山前中 菱沼 結 議員

【答弁】 市では今年の9月から市内全中学校の剣道部と一部の卓球部が、休日は専門的な指導者が指導する地域クラブとして活動することとなり、令和8年度以降、さらに種目を増やせるよう、準備を進めています。生徒の皆さんがさまざまな種目やレベルに応じた活動を体験できるよう取り組んでいきたいと考えています。



交通事故の減少と交通安全の増進のため、街灯を増やし、縁石を設置してはいかがでしょうか。

山前中 横山 綺乃 議員

【答弁】 市では防犯灯の設置費用の一部を負担し、生活環境の整備を行っています。また、縁石の設置については、道路を広げる必要があり時間がかかるため、早急に安全対策ができる白線の引き直しなどを実施し、市民が安全に通行できるよう、学校や地域の区長さんなどと連携して、歩行者の安全確保に努めていきます。



ラーケーションを導入することで家族との時間ができ会話も増え、心の安定につながると思いますが市ではどうお考えでしょうか。

久下田中 松本 琉莉 議員

【答弁】 市におけるラーケーション[※]の導入について、各家庭の状況により取得できない家庭があることや家庭で学習を補う負担が増えることなどを考慮し、現時点では導入を見送りたいと考えています。市内の魅力ある施設を市民の方々に家族で楽しんでいただけるよう、広く情報発信をしていきたいと思っております。

※平日に家族や保護者と一緒校外学習を行うことを目的とした休みを取得できる制度



公園でのボール遊びについて、時間帯やスペースを区切ることで他の利用者への危険が減り、遊べるようになると思いますがいかがでしょうか。

久下田中 仁平 采那 議員

【答弁】 公園でのボール遊びについては、他の利用者や近隣住民からご意見をいただき「公園のボール遊びのお願い」を配布しています。野球やサッカーなどの練習で利用する場合は運動場、ネットやフェンスが整備された公園を利用していただきたいと思います。今後も、誰もが安心して公園を利用できるよう、利用マナーの啓発に努めていきます。



久下田の商店街の魅力発信のためのイベント開催や開催に関するマニュアルの作成、イベントボランティアバンクを設置していただきたいです。

中村中 毛利 恵朋 議員

【答弁】 商店街を歩行者天国として実施している久下田祇園祭などのイベントを通じて地域の魅力を発信していきます。関係手続きについてはマニュアル化が難しいため商工観光課までお問い合わせください。また、イベントボランティアバンクについては「コラポーレもおか」が同様の役割を担っていますので活動内容を積極的に周知していきます。



大学教授やジャーナリストなどいじめについての専門家による講座を各校で開催していただきたいです。

中村中 鶴澤 歩叶 議員

【答弁】 栃木県教育委員会では学校の希望に応じて「いじめ・不登校」などに関する専門家を派遣し、生徒や保護者、教職員を対象に講座を行う事業を実施しています。今後は、市内全小中学校でいじめがなくなり、児童生徒が安全に安心して学校生活を送れるよう、この事業の活用について、各校に周知したいと思います。



市の防犯・安全の向上のために防犯カメラや街灯の設置、緊急時のためにこども110番の家の増設などを検討いただけないでしょうか。

物部中 平石 雄大 議員

【答弁】 防犯カメラは利用者の多い公園や全ての小中学校の敷地内に設置しています。生活道路などの街灯の設置については、各自治会で設置しており、地域の防犯活動を支援するため費用の一部を負担しています。こども110番の家については、学校と連携し、より多くの緊急避難場所が確保できるよう地域の皆さんや店舗等に協力を呼びかけていきます。



誰もが簡単に運動を楽しむことができるニュースポーツの体験会を学校や地域で開催してはいかがでしょうか。

物部中 渡邊 滯 議員

【答弁】 市ではニュースポーツ教室を年3回開催するほか、イベントを利用して体験会を開きニュースポーツの普及に努めています。また、スポーツ推進委員が学校や自治会等へ出向いてニュースポーツの体験会を開く出前講座も行っています。今後も、市民が手軽にスポーツを楽しむことができる機会を提供できるよう取り組んでいきます。